

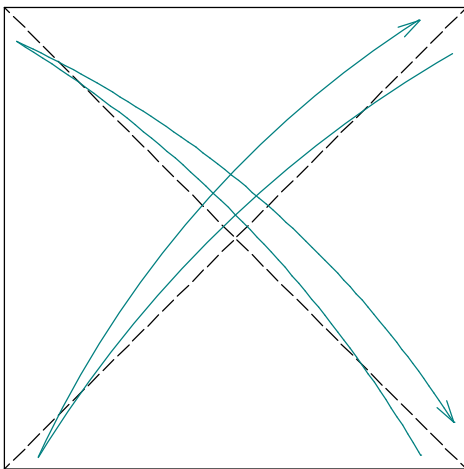
# 海上自衛隊 いずも型護衛艦

Japan Maritime Self-Defense Force "Izumo-class helicopter destroyer"  
by Hiroshi KOMINAMI (January 2018)

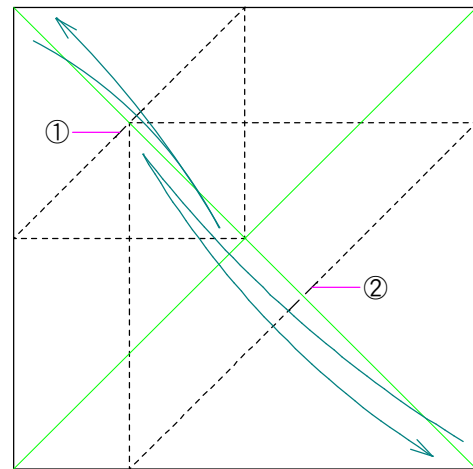
正方形の紙一枚で、切らずに作る「いずも」型護衛艦（1番艦「いずも」、2番艦「かが」）です。立体化も考えましたが、作りやすさを重視して、平板の組合せにしました。エレベータの表現が、特に苦労した点です。

まだまだ改良の余地があります。船体を立体化したり、マストの形をさらに複雑にしたりと、いろいろ工夫できますので挑戦してみてください。

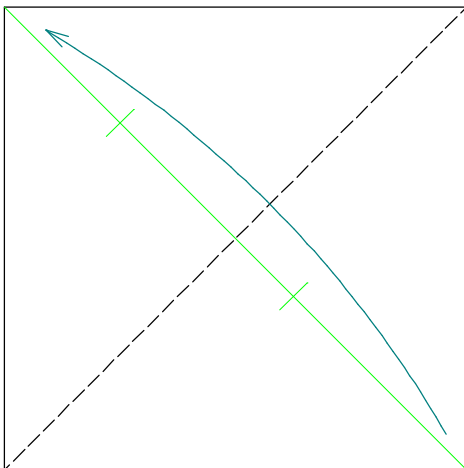
折り上げた後、船体の歪みをしっかり直すのが美しく仕上げるコツです。用紙は普通の折り紙で構いません。定規とシャープペンシル（または十分尖らせた鉛筆）、消しゴムも用意してください。



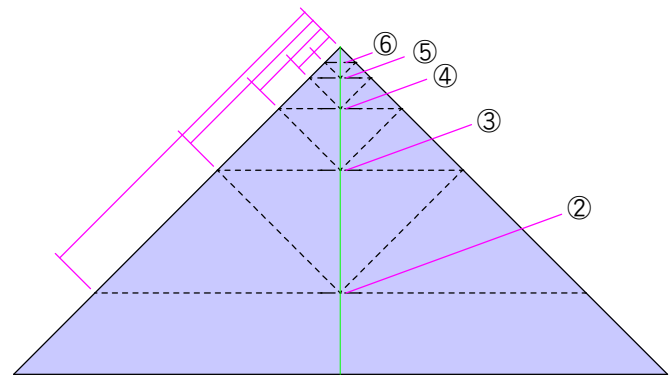
[1] 対角線に折り目をつける。



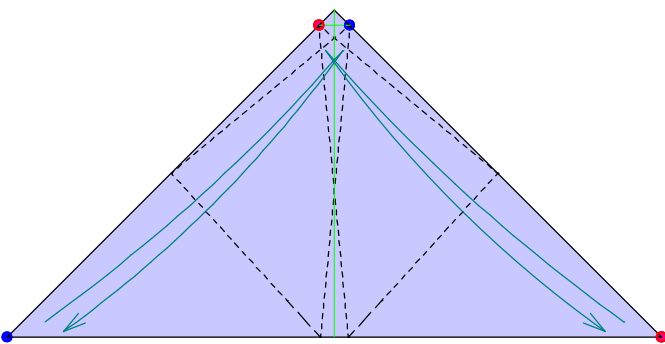
[2] ①の折り目をつけ、それを基準に②の折り目をつけるなるべく、中央線付近だけを折る



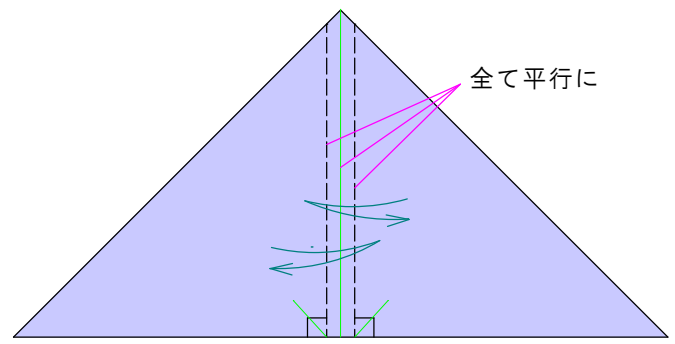
[3] この後、時計方向に45°回転



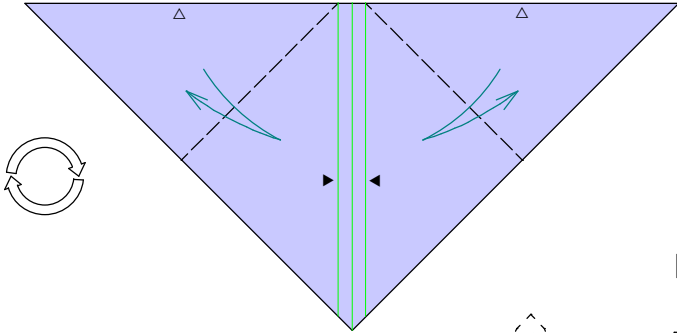
[4] ②を基準に③、③を基準に④...と折り目をつけ、最終的に⑥の折り目を紙の端から端までつける。⑥以外は、ごく短くて良い



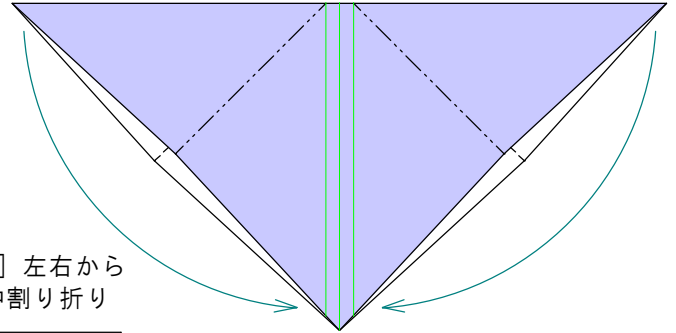
[5] ⑥の折り目の両端に、三角形の頂点を図のように重ねて短い折り目をつける（図で②～⑤の線は省略）



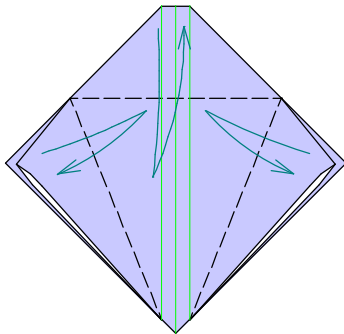
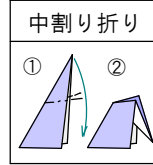
[6] [5]でつけた折り目を基準に2本の折り目をつける（図で⑥の線は省略）。この後、上下を反転



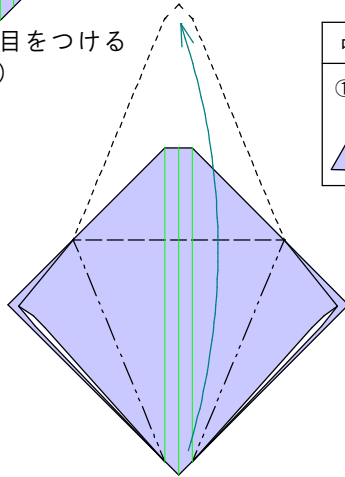
[7] 辺△を線▲に合わせて折り目をつける (図で[5]までの折り目は省略)



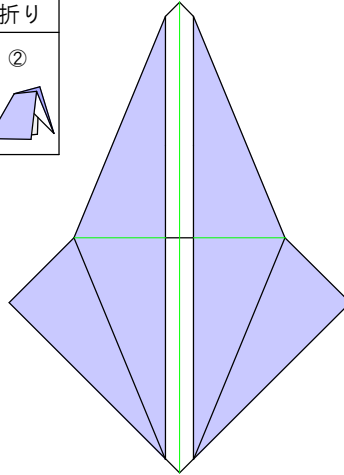
[8] 左右から中割り折り



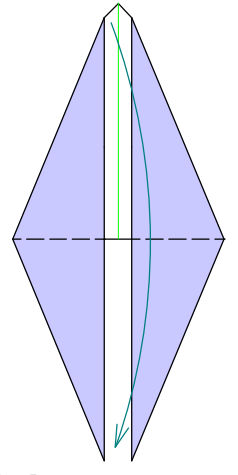
[9] 折り目をつける



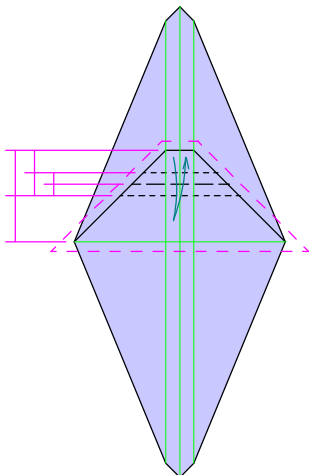
[10] 手前の1枚を引っ張り上げ、角(つの)状にして、つぶす



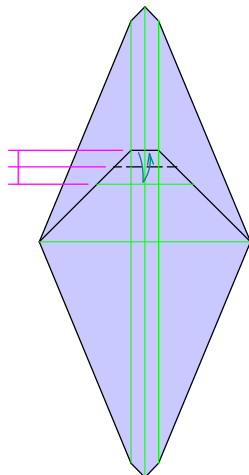
[11] [10]の結果。裏も同様に



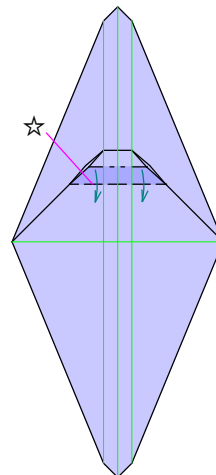
[12] 手前の角状部分を折り下げる



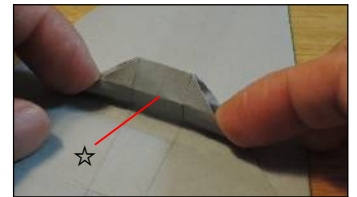
[13] 点線で囲まれた台形の底から8分の5の高さに折り目をつける



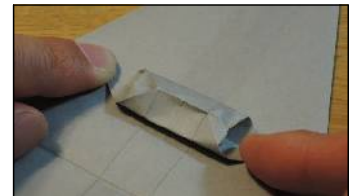
[14]



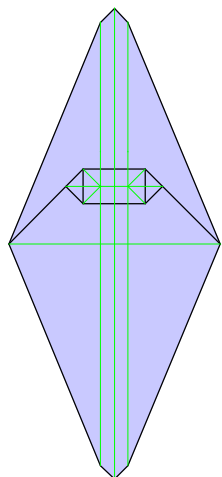
[15] 線☆から上の台形部分を開き、長方形にしてつぶす



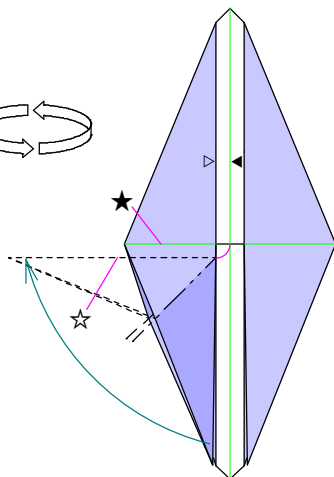
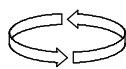
[15-1]



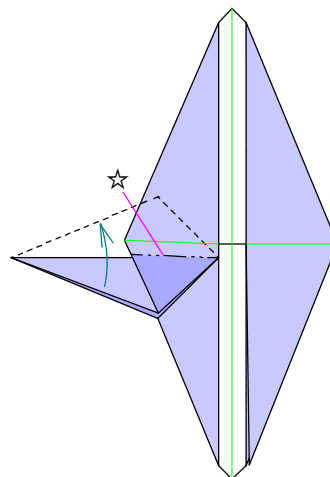
[15-2]



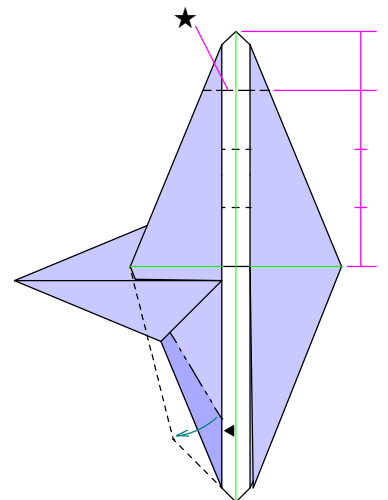
[16] [15]の結果。この後、横方向に裏返す



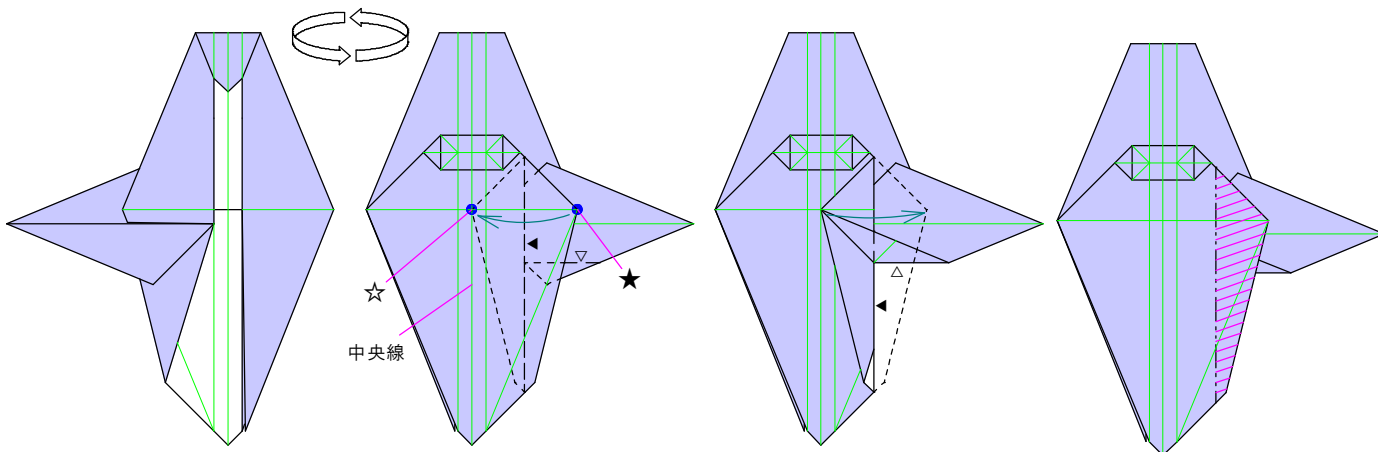
[17] 向って左の角状部分を90°左に中割り折り。☆~★間隔は△~▲ (=中央線) 間隔に同じ



[18] 角状部分を幅広くする。線☆が山折りになることに注意



[19] 線★を谷折り。また▲の辺を左下に最大限引き出す



[20] [19]の結果。  
この後、横方向に裏返す

[21] 点★が中央線上の点☆  
に重なるように、中央線に  
平行な線▲を谷折り。同時に  
▲に直行する線△も谷折り

[22] ▲の折り目を開く。  
△はそのままにしておく

[23] 袋になっている斜線部  
を裏返すように陥没させる。  
(沈め折り)



[23-1] 袋の部分を裏返す



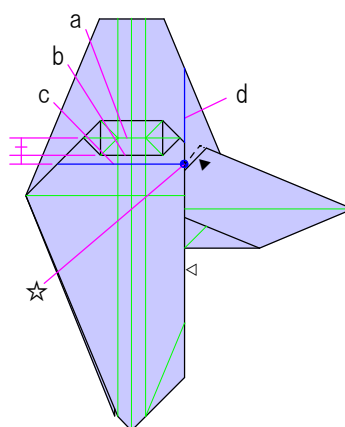
[23-2] 形を整える



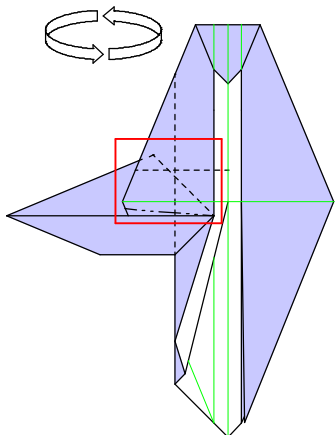
[23-3] 工程[20]終わり



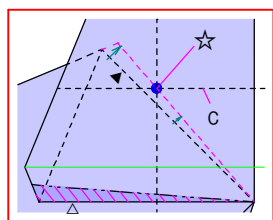
[23-4] 反対側から見る



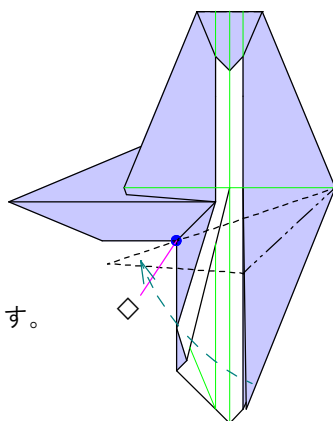
[24] 図のように線c・線dを書く。  
cとbの間隔はaとbの間隔の半分。  
線dは△の延長。次に▲の折り目  
をずらして点☆に合わせる。  
詳細は次の[25]で説明する



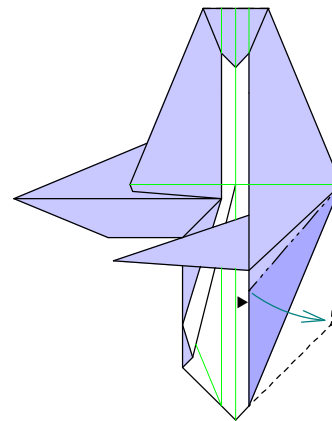
[25] [24]の図の裏から見る。拡大図参照



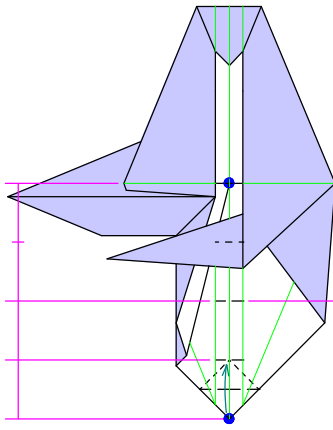
[25] 拡大図  
▲の位置にある折り返しを  
☆に接するところまでずらす。  
△の折り返しも連動して、  
斜線部が内側に入っていく



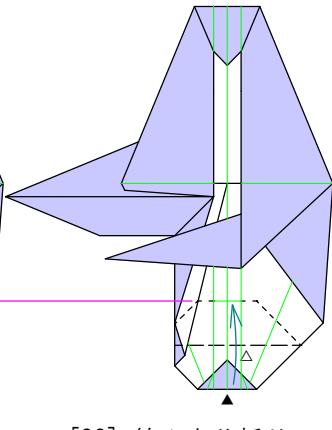
[26] 右手前の角状部分を折って  
点◇に接するようにする。



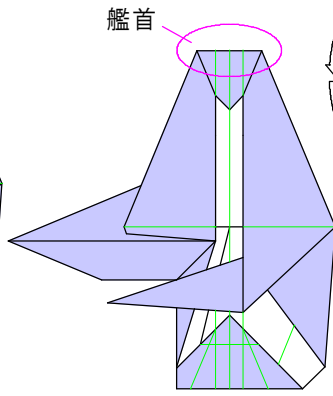
[27] ▲の辺を右下に  
限界まで引き出す



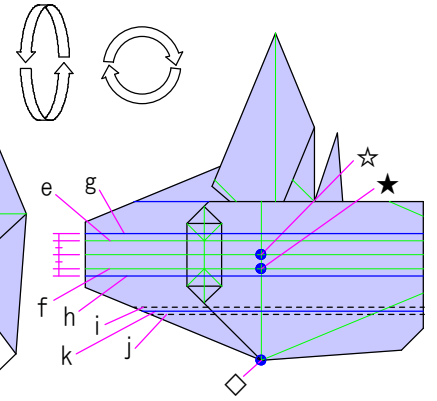
[28]



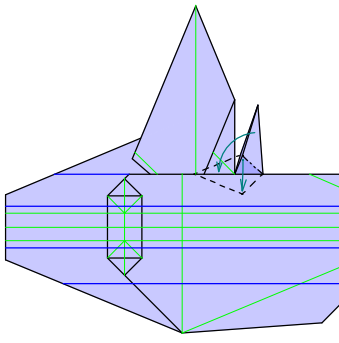
[29] 線△を谷折り。その後、線▲を開く



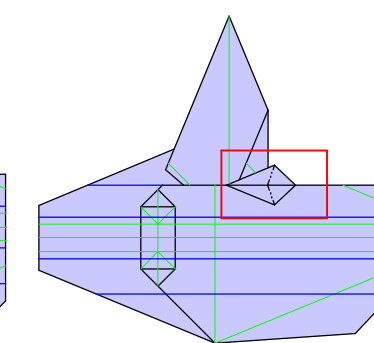
[30] [29]の結果。この後裏返して艦首を左向きに



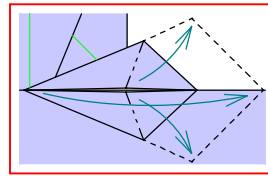
[31] 中央線と線e・線fの間隔を1.5倍して線g・線hを記入。点◇を点☆・点★に合わせた際の折り目を線i・線jとして、その間に線kを記入



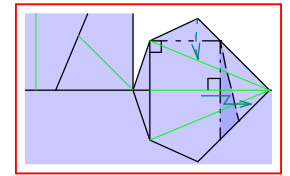
[32] 後部エレベータの成形



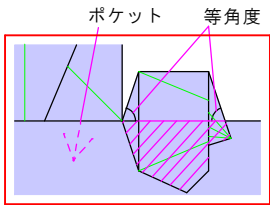
[33] 拡大図参照



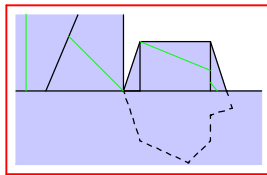
[33] 拡大図  
上下の袋を開きながら全体を右方向へ折る



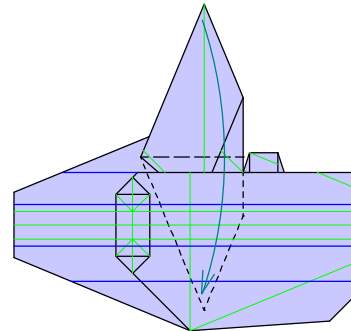
[34] 前後対称にする



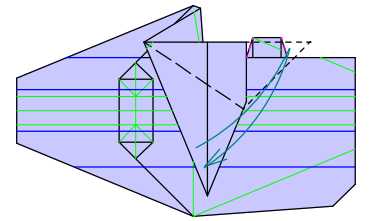
[35] 斜線部を、その下にあるポケットの中に挿し込む



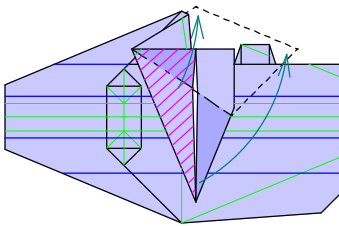
[36] 後部エレベータ完成



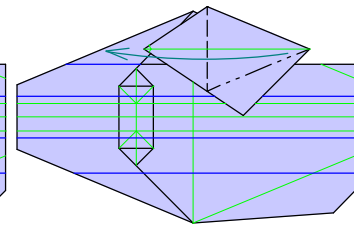
[37] 上部構造の成形



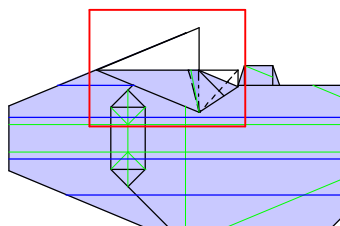
[38] 折り目をつける



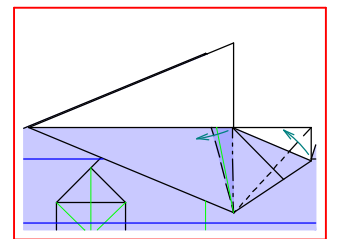
[39] 斜線部の袋を開いて角状部分を艦尾方向に折る



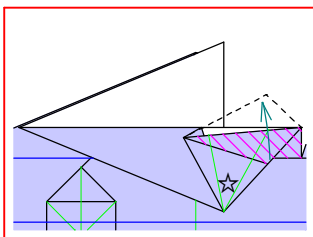
[40] 中央線に垂直な線で艦首方向に折り返す



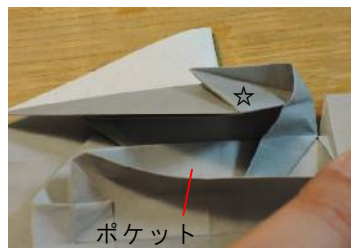
[41] 拡大図参照

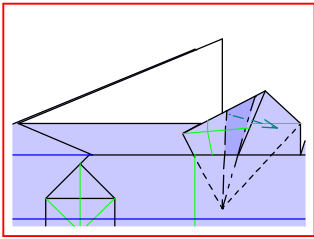


[41] 拡大図

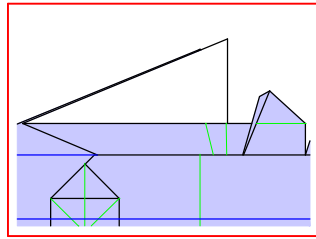


[42] 斜線部を上へ引く。奥にたたまれている部分も含めて最大限引き出す。すると自然に、☆の部分がその下にあるポケットの中に収納される

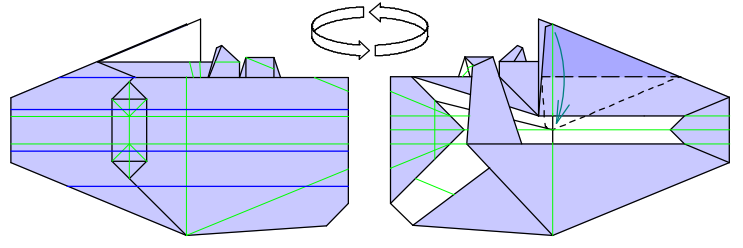




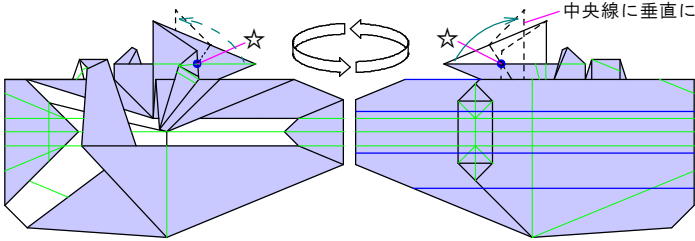
[43]



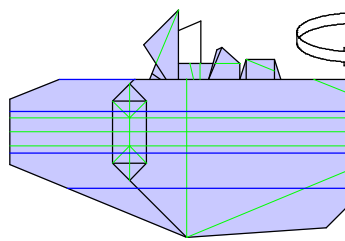
[44] [43]の結果の図。この後、横方向に裏返す



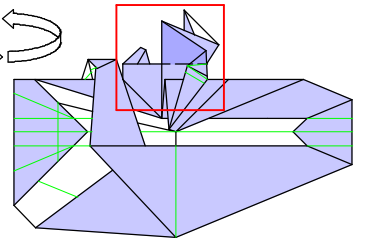
[45] [24]の線dに沿って折る



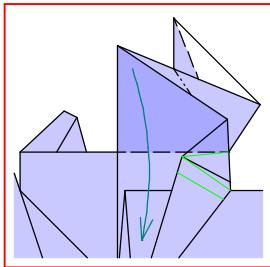
[46] 点☆を通る線を山折り。 [46-1] 裏側から見た図  
次図では裏側から見る



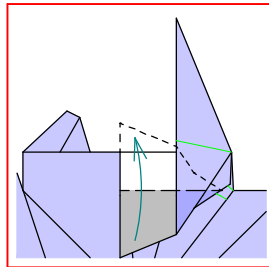
[47] [46]の結果。裏返す



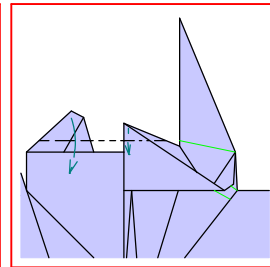
[48] 艦橋・煙突・マストの成形。拡大図参照



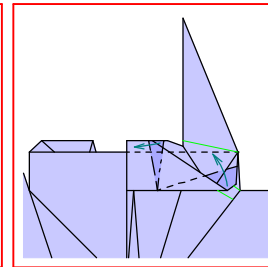
[48] 拡大図



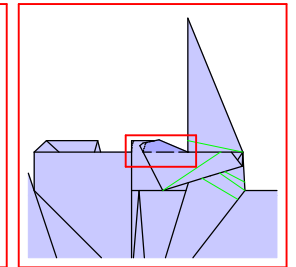
[49]



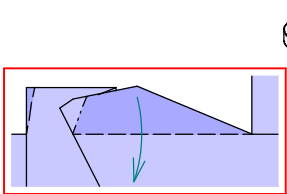
[50] 高さを揃える



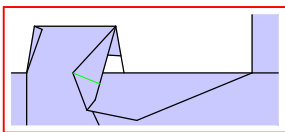
[51] 煙突を細くする



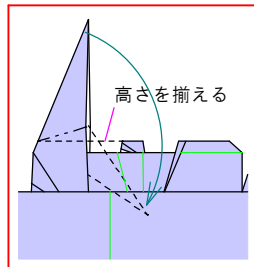
[52] 更に拡大する



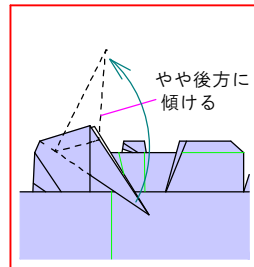
[52] 拡大図



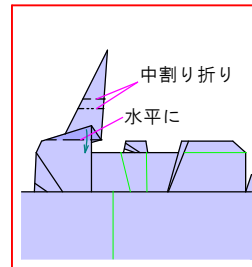
[53] 次図から拡大率を戻して、横方向に裏返す



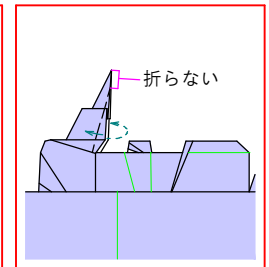
[54] 中割り折り



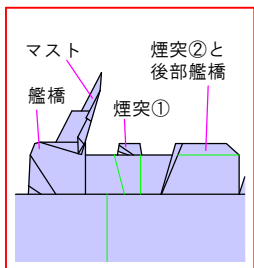
[55] 逆に中割り折り



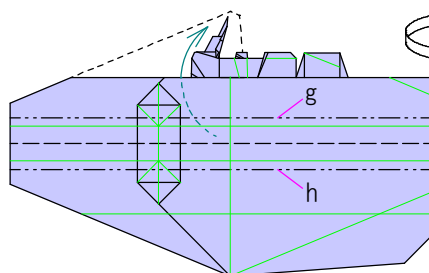
[56] 上にも1つ段差を設ける



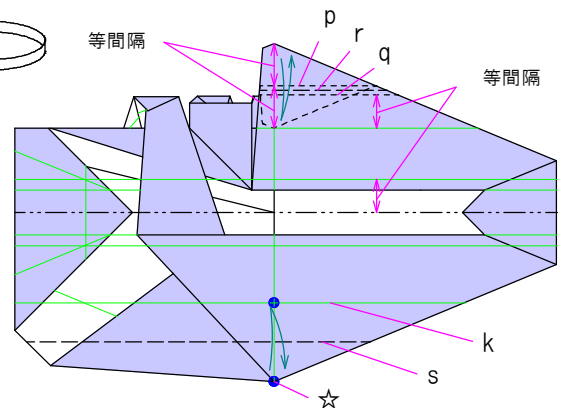
[57] マストの後縁を手前と向こうに折る



[58] 上部構造の完成

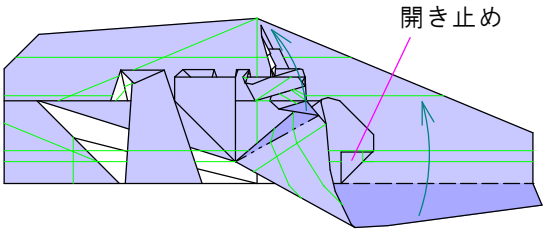
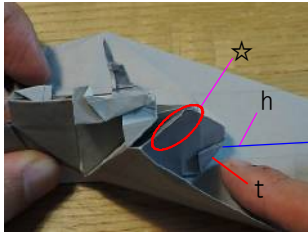
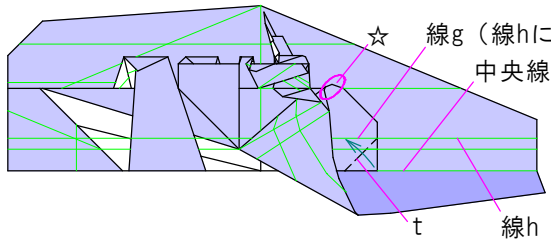


[59] [45]で折ったところを元に戻す。中央線を谷折りした状態で線gと線hに山折りの折り目をしっかりつける。横方向に裏返す。次図はやや拡大



[60] 線pと線qの間線r、線kと点☆の間線sにそれぞれ折り目をつける。次に中央線を閉じる

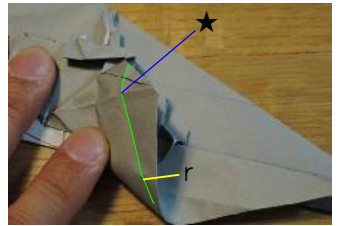
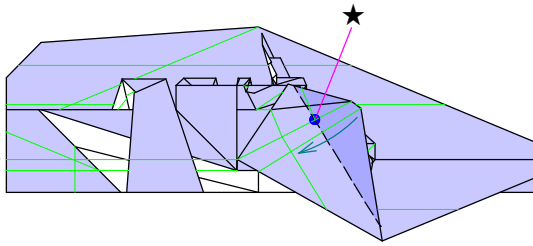
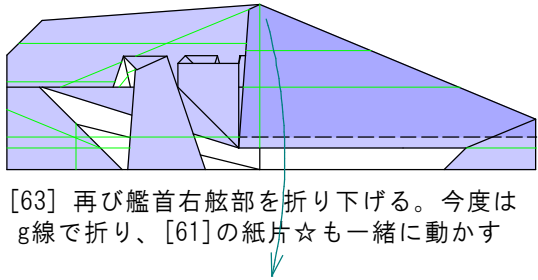
[61]～[70]の10工程は省略しても可。その場合は仕上げに接着剤、粘着テープ、ホチキス等が必要となる。なお、10工程を省略しない場合でも、これらを多少用いたほうが美しく仕上がる



[61] 中央線の開き止め処置をする。艦首の右舷側（手前）を大きく開き紙片☆を上げた状態で、線tを斜め後上方（45°）に折る

[61-1]

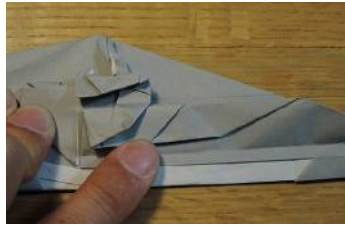
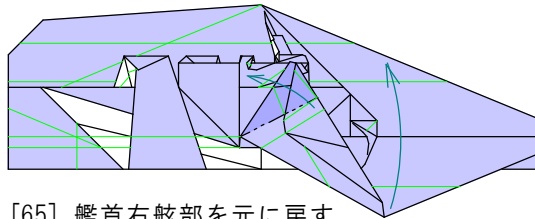
[62] [61]で開いた艦首右舷部を元に戻す。これ以降、中央線を開かないようにする



[63] 再び艦首右舷部を折り下げる。今度はg線で折り、[61]の紙片☆も一緒に動かす

[64] 艦首側から[60]の線rを谷折り。点★より後方（少し角度が変わる）も構わず一直線に折る

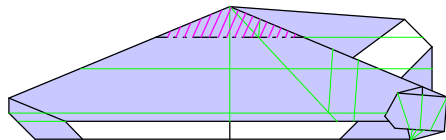
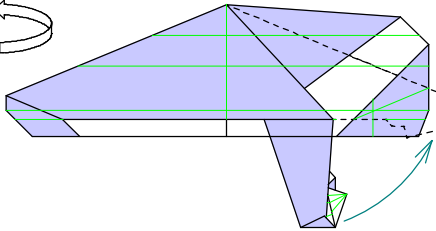
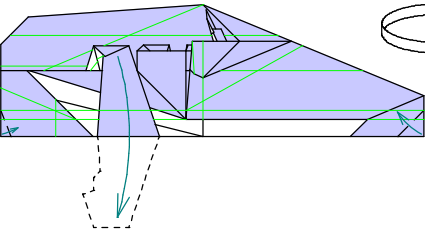
[61-1]



[64-2]

[65] 艦首右舷部を元に戻す

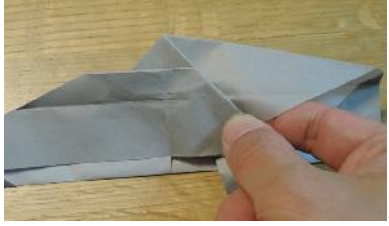
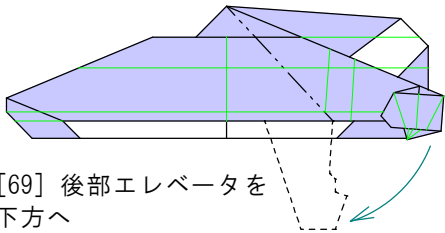
[65-1]



[66] 艦首と艦尾も[61]と同様、斜めに折って、開きを防ぐ。後部エレベータを中央線から折り下げ。横方向に裏返す

[67] 後部エレベータを後方へ

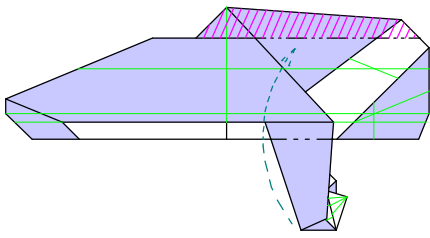
[68] 斜線部を[23]と同様、陥没させる



[68-1]

[69] 後部エレベータを下方へ

[69-1]

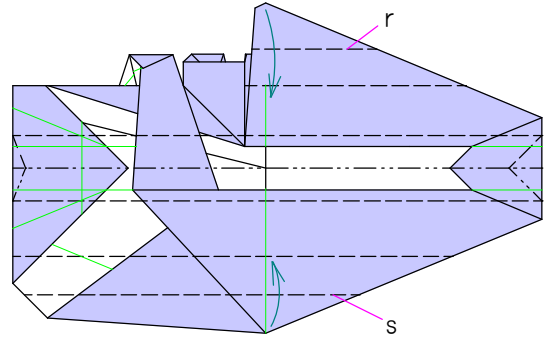
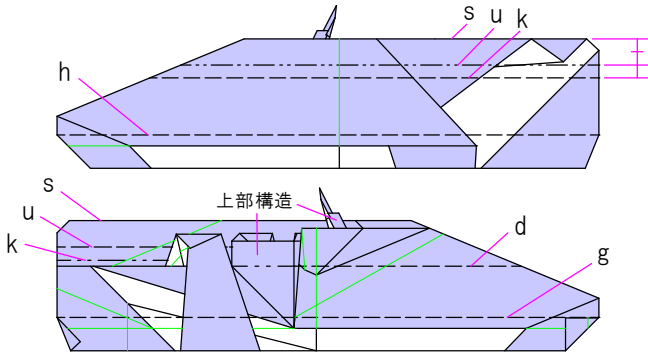


[70-1]



[70-2]

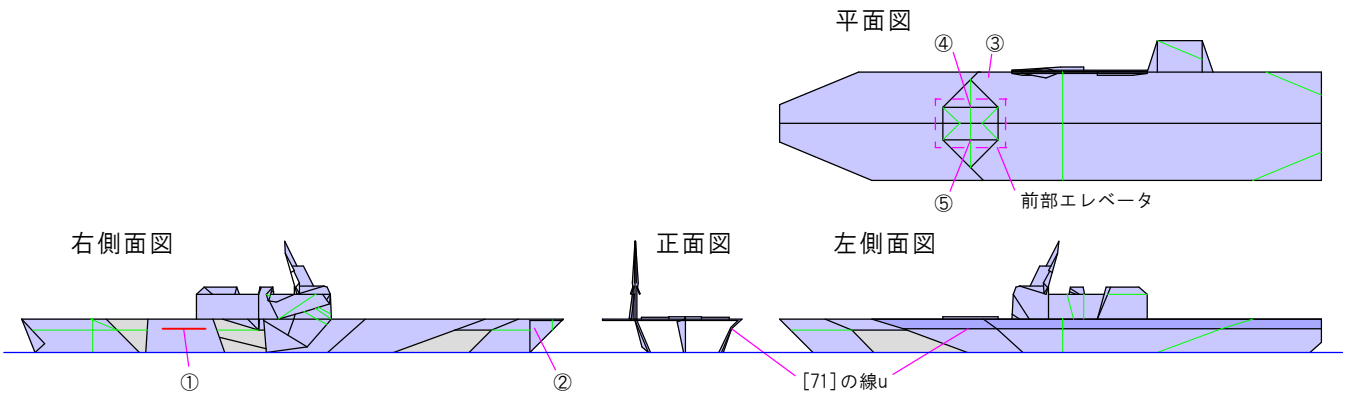
[70] 斜線部を[68]と同様、陥没させる。後部エレベータを右舷側の、元の位置に戻す



[71] 線gと線hを直角に折り、線dと線kはさらに大きく折って、外側部を内側に傾ける。線kと線sの間隔の3分の1のところを線uとし、これを境に傾きを変える。上部構造は垂直に立てる(下の四面図を参照)。これで折り終わり

[61]~[70]を省略した場合、中央線を閉じて艦首と艦尾の開き止めをした後、線rと線sを谷折りし、後は[70]と同様に折る

### いずも型護衛艦 四面図



折り終わったら十分に歪みを直し、とくに上甲板を水平にする。丸数字は接着が推奨される箇所を示す。  
 ①はホチキスを用いるのが良い。④⑤は接着剤や両面テープを用いて前部エレベータの浮き上がりを防ぐ。